

警告!
悩める知識が
人を殺す。

ハイパー・ラーニング

A FILM BY JOHN SINGLETON

HIGHER LEARNING

COLUMBIA PICTURES PRESENTS

A NEW DEAL PRODUCTION

A FILM BY JOHN SINGLETON

"HIGHER LEARNING"

STARRING JENNIFER CONNELLY ICE CUBE

OMAR EPPS MICHAEL RAPAPORT

KRISTY SWANSON AND LAURENCE FISHBURNE

MUSIC BY STANLEY CLARKE

CO-PRODUCED BY DWIGHT ALONZO WILLIAMS

MUSIC SUPERVISOR DANNY BRAMSON

COSTUMES DESIGNED BY CAROL ODITZ EDITED BY BRUCE CANNON

PRODUCTION DESIGNER KEITH BRIAN BURNS

DIRECTOR OF PHOTOGRAPHY PETER LYONS COLLISTER

PRODUCED BY JOHN SINGLETON AND PAUL HALL

WRITTEN AND DIRECTED BY JOHN SINGLETON

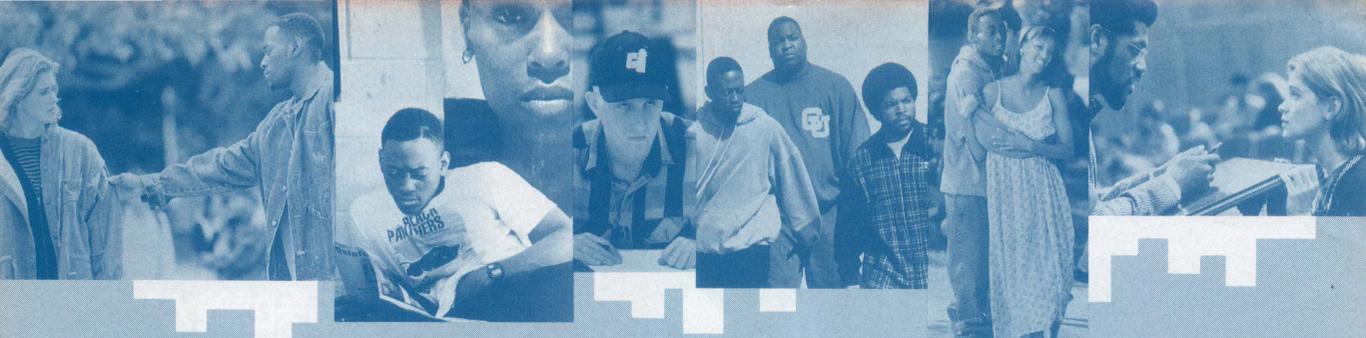
SOUNDTRACK ON EPIC SOUNDTRAX

 Dolby Digital
A feature of DVD Video

 Dolby Stereo
In Selected Theaters

DISTRIBUTED BY
COLUMBIA TRISTAR
FILM DISTRIBUTORS
INTERNATIONAL





STAFF
 監督&脚本：ジョン・シングルトン
 製作：ジョン・シングルトン&ポール・ホール
 撮影：ピーター・リオンズ・コリスター

ハイヤー・ラーニング

CAST
 タリン：ジェニファー・コネリー
 ファッジ：アイス・キューブ
 マリク：オマー・イブス
 レミー：マイケル・ラバポート
 クリスティン：クリスティ・スワンソン

大学は何のために存在するのか？

高等教育(ハイヤー・ラーニング)の現場としての大学は単に知識を授けるだけの場ではなく、物の考え方を学び実社会へ旅立つための訓練の場であるはず。ここコロボンズ大学にやってきた新入生たちも等しくそういった希望に胸高鳴らせていた。……だが、現実には大学は社会の縮図そのもの——ここには1万8千名の学生がおり、その国籍は32ヵ国に及び、6つの人種、そして男と女という二つの性がひとつのキャンパスにひしめいているのだ——であり、誰もが生き残るための戦略というものを身に付けなければならない。そしてそのサバイバルの手段というものには自分自身で探さなければならないのだ！

『ボイズ'ン・ザ・フード』『ポエティック・ジャスティス/愛するということ』で“黒人のスピルバーグ”と異名をとったジョン・シングルトン監督の新作『ハイヤー・ラーニング』は現代の架空の大学=コロボンズ大学を舞台に、人種や背景も異なる3人の新入生たち——クリスティン、マリク、そしてレミーがそのアイデンティティ、多様性、性差別、そして人種間の緊張といった問題に直面しながら成長していく様を描いている。

もう他人事ではない アメリカン・キャンパスの問題…

物語は明日から新学期を迎えるという日の希望溢れるキャンパスで始まる。……カリフォルニアからやってきたクリスティン(クリスティ・スワンソン)は不安がいっぱいで、エレベーターで黒人男子学生と二人きりになっただけで身を固くする始末。だがドミトリーで同室となった黒人女子学生モネ(レジーナ・キング)とはすぐに打ち解けることが出来た。一方、エレベーターでクリスティンとニアミスした黒人学生マリク(オマー・イブス)は陸上選手として奨学金を得ての入学だったが、スター選手気取りでサングラスを掛けてトラックへ乗り込んだところ早速コーチに一喝され、挙げ句の果てに「そ

れなら入部しない」と啖呵を切ってしまう。

エンジニアを目指して勉強するべくやってきたレミー(マイケル・ラバポート)は引込み思案で、真面目なのだが他人から見ると何を考えているのかわからないところがあり早速“サイコ”とあだ名を付けられた。

こうして、それぞれにキャンパス・ライフをスタートさせた三人の新入生たちだったが、皆が新生活に慣れ始めた頃に事件が起こった。垢抜けたつもりで髪をブリーチし、酔って男の子とベッドインに及んだクリスティンが一種のデートレイブに逢ってしまったのだ。泣きながら部屋に戻った彼女に電話してきた相手の男が電話に出たモネに人種差別的な暴言を吐いたためにファッジ(アイス・キューブ)を中心とする黒人学生グループが白人学生たちのドミトリーに押し掛けてきた。警官の到着で騒ぎは収まったが、一方で未だ友達の出来ないレミーに言葉巧みに近づいてきた者たちがいた。それは自分たちアリアアの血を守り有色人種やユダヤ人を抹殺すべきだと唱えるスキンヘッドの狂信的グループ、即ちネオナチだった。……初めてまともに話相手になってくれた彼らに対し警戒心を解いたレミーは次第に洗脳されていく。

事件以降何かに目覚めたクリスティンはタリン(ジェニファー・コネリー)の主催する性差別反対集会に出掛けるようになり、やがて自らマイクの前に立ち「差別を無くすための集会」を企画するまでになる。そして彼女はタリンとの禁断の関係に溺れていく。

日増しに人種間の緊張が高まっているキャンパスで、ある日黒人グループとネオナチ・グループとの間で殴り合いの喧嘩騒ぎが起こる。——そしてクリスティン主催の集会の日、新学期の初日に等しく希望に胸膨らませていたクリスティン、マリク、レミーの三人のキャンパスライフが一点に結びついたその時、悲劇は起こってしまった。……



9月16日(土)からロードショー

梅新・東映会館南隣り06(343)1691

お得な特別ご鑑賞券発売中

シネマアルゴ梅田

・一般券1400円・学生券1200円
 (当日 一般1700円・大高1400円) 税込

上映時間 11:40 2:00 4:20 6:40